

「口腔がん低侵襲診断治療研究会(仮称)」 発足集会

旧 口腔がん粒子線、BNCT 研究会 代表 瀬戸皖一

「口腔がん粒子線、BNCT 研究会」は5年前に発足し、侵襲を最小限に抑え、機能温存口腔がん治療を模索して参りました。この数年間で機能温存治療は国際的にもあらゆる診療領域で積極的に取り組まれ、次々と新しい治療システムが開発されています。本会の発足動機である「ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)」は切除不能な局所再発頭頸部がんに対して第Ⅱ相治験が総合南東北病院並びに京都大学原子炉研究所において行われ、また画期的開発として評判の「 α 線による組織内照射」が頭頸部がんに対して東京医科歯科大学を中心として治験が始まります。いま「光免疫治療」はあらゆる管腔組織がんへの応用が期待されています。その最初の適応として口腔がんを対象として第Ⅲ相治験が日本や米国で始っております。一方蛍光を用いた初期口腔がんと高度上皮性異形成の診断法が開発がわが国で大きな反響を呼んでおります。この度光免疫の開発で世界から脚光を浴びている NCI の小林久隆先生が日本口腔外科学会総会で招待講演をされることに因み、本研究会は従来の視野を大きく広げて学際的な学会に発展したいと決意致しました。多くの口腔外科専門医はじめ口腔領域各分野の専門家の先生方にご参集いただき、次世代の口腔がん臨床の新しいドアが開かれるきっかけになれば幸いです。

【プログラム】

日時：10月25日 17:30~19:30

会場：札幌コンベンションセンター第10会場 (2F 206 会議室)

17:30~17:35 ご挨拶

旧 口腔がん粒子線・BNCT 研究会 代表 瀬戸皖一

17:35~17:50 「治療法のない頭頸部がんに対する BNCT」について

大阪大学 口腔外科 加藤逸郎先生

17:50~18:20 「Ra-224 崩壊核種からの α 線による口腔がん組織内照射」について

東京医科歯科大学 口腔放射線腫瘍学分野 三浦雅彦先生

18:20~18:35 「蛍光診断」について

鶴見大学 口腔内科学 里村一人先生

18:35~19:05 「光免疫療法」について

米国立がん研究所(NCI) 小林久隆先生

19:05~19:30 パネルディスカッション

※なお多くの先生方にご参加いただきたいと思いますので、事前に参加登録のご連絡をメールでお願い致します。

送信先	bnct.jsoms@gmail.com
メールタイトル	10月25日発足集会参加希望
メール本文	ご所属の組織名とお名前

事務局代行：公益財団法人 国際医療財団 (TEL:03-6459-4676)